

■東京大学アグリコクーンのフィールド研修に講師として参加



・9月27日は、千葉県香取市の風土村（地元野菜の直売所とレストラン）と山田バイオマスプラント（メタンガスと液体肥料生産）、同県旭市の農事組合法人八万石（飼料稲などのバイオマス供給地）を見学。

・9月28日は、鹿島石油株式会社鹿島製油所（大規模エネルギー産業）と、中国木材株式会社鹿島工場（製材時に発生する廃材の焼却熱を蒸気発電や木材乾燥等に利用）を見学。



・移動中のバス車中での意見交換や、宿泊所でのワークショップ「地域活性化のためのバイオマス利活用方策のデザイン」やディベートは、農工研が企画・運営しました。

・ワークショップでは、5つのチームに分かれ、当日に見聞きしたこと、これまで学んできたことを踏まえてアイデアを出し合いました。（右上は農工研の遠藤主任研究員）



・同行された先生は、「自然科学を専攻する学生たちは、研究の出口が社会貢献に結びつくことを具体的にイメージする機会が無かった。自分たちの構想を自分たちの言葉で発表するという農工研の企画はとても良かった。」と感想を述べておられました。（右端は農工研の栗田主任研究員）



・昨今のB級グルメの盛り上がりヒントに、未利用資源の活用や各種の体験を売り物にして地域外の人を香取市に呼びこむというBB（B級グルメの理念+バイオマス研究）プランが提案されました。（最優秀発表賞を受賞）

・bed and breakfastやブリジットバルドー（女優）などを連想させるところにセンスの良さが光りました。